

# 1 データヘルス計画とは

レセプト(医療情報)、健診結果などのデータ分析に基づいて、効果的かつ効率的に保健事業を展開する。

全ての健康保険組合と市区町村国保で実施しています。

## 最大目標 健康寿命の延伸

少子高齢化などの社会環境の変化に対応し、医療費を抑え、労働生産性を高め、経済成長し続けるためには健康であることが大切

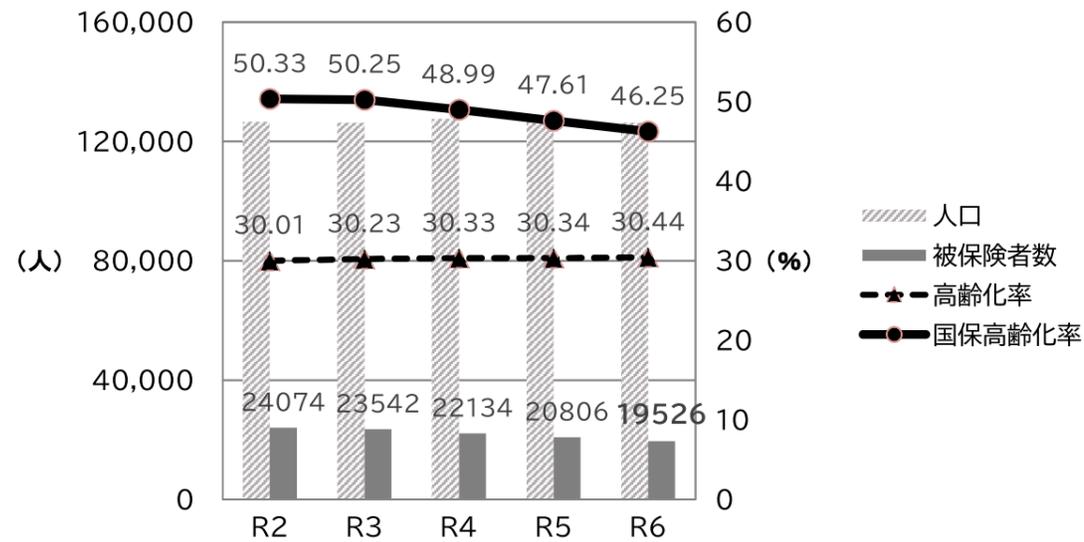
- 第1期計画 平成28年
- 第2期計画 平成30年
- 第3期計画 令和6年度**



# 2 国保被保険者数の推移

国保の被保険者数は減少傾向

### 人口、国保被保険者数と高齢化率

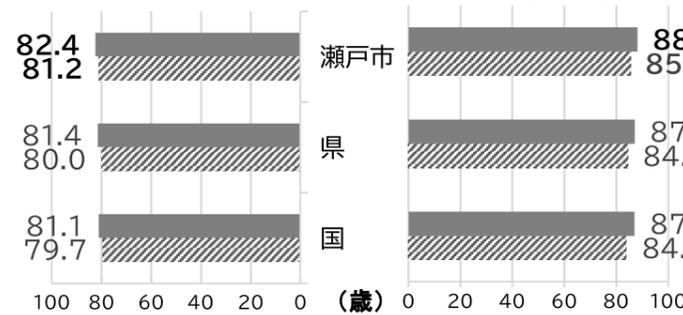


被保険者数は、市の人口減少に伴い、年々減少しています。令和6年度には2万人を割りました。団塊の世代(76~78歳)が後期高齢者医療制度へ移行したことで、国保高齢化率は下がっています。市の全体の高齢化率は上昇しており、県下でも高齢化率の高さで上位に位置しています。

# 3 健康・医療情報等の分析と課題

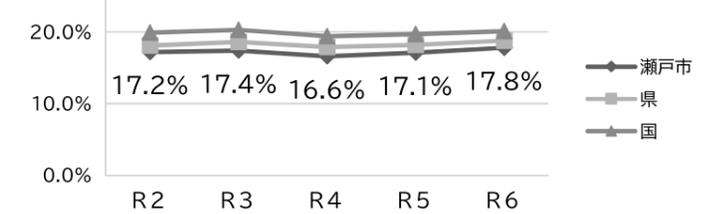
## 市全体の状況

### 平均寿命と健康寿命



## 健康な高齢者は増加傾向

### 要介護認定率(1号)

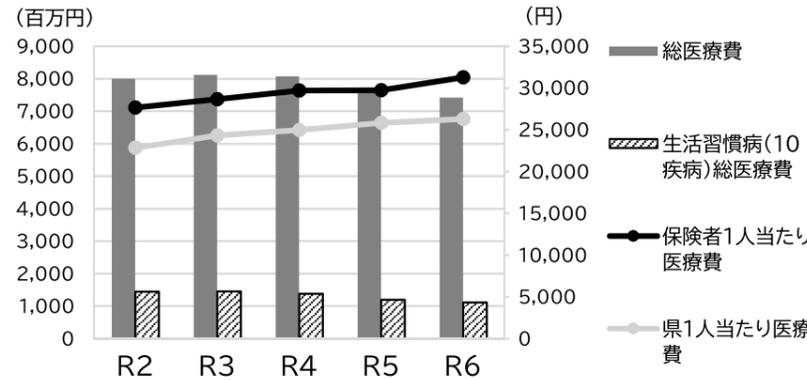


平均寿命と健康寿命は、県や国よりも長く、要介護の認定率も国や県よりも低くなっています。単に長生きというだけではなく、健康な高齢者が増えています。

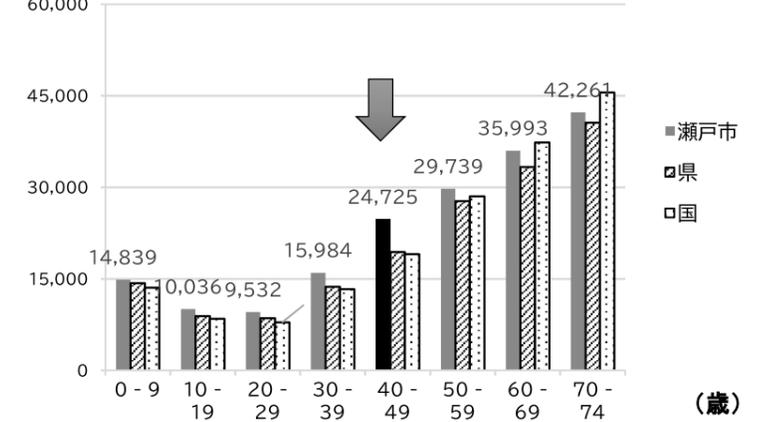
## 国保の医療費総額は減少、1人当たりの医療費は増加

## 国保被保険者の状況

### 総医療費と生活習慣病総医療費の推移

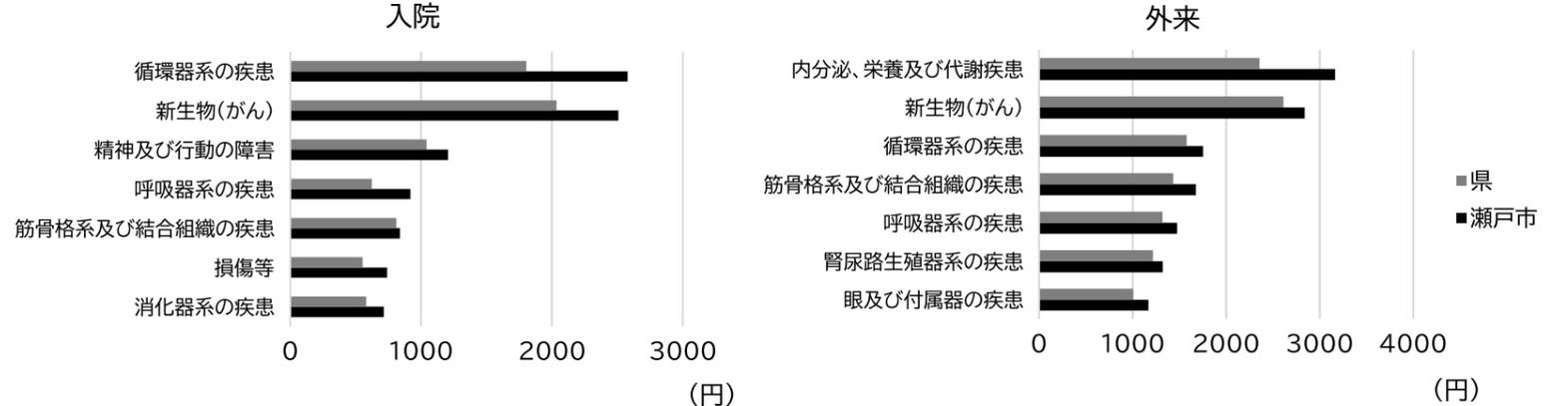


### (円) 年齢階級別1人当たり医療費(令和6年度)



総医療費は被保険者数の減少とともに減少傾向にあります。1人当たりの医療費は増加しています。1人当たりの医療費は、県や国よりも高くなっています。特に40-49歳の差が大きくなっています。

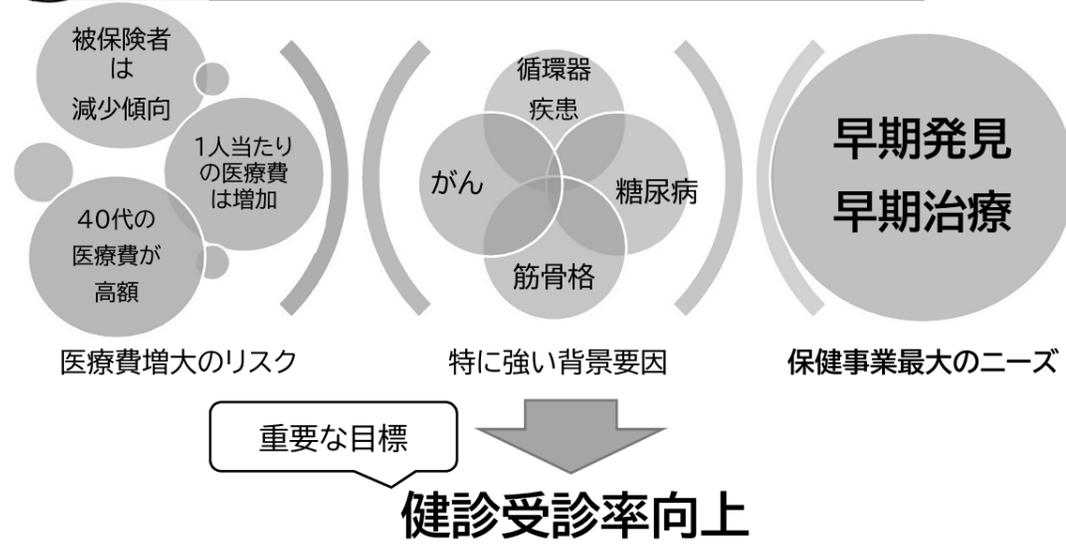
## 疾病大分類別一人当たり医療費



入院・外来ともに多いのは循環器系の疾患(脳梗塞など)、新生物(がん)です。外来で、最も多いのは内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病など)です。県との差も大きくなっており、筋骨格系も県や国と同じく上位に位置しています。

4

保健事業の必要性



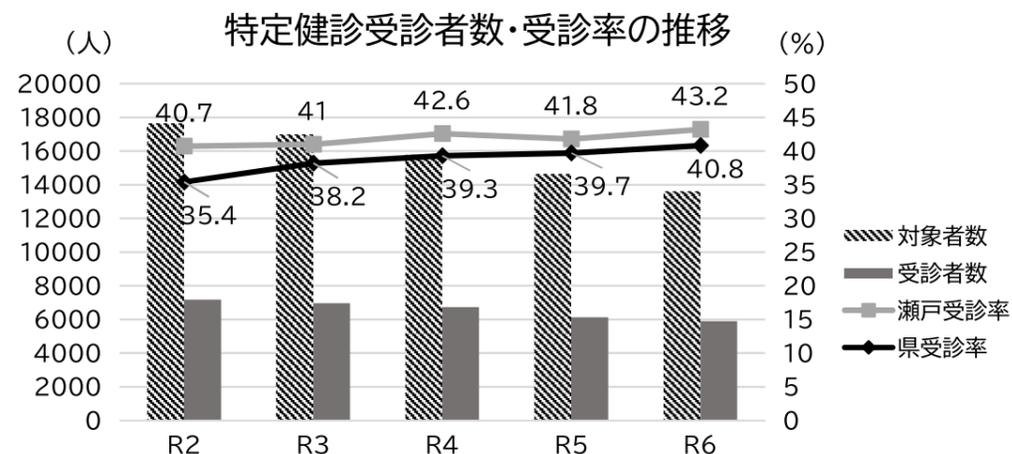
本市においては、一人当たりの医療費が年々増加しています。特に40代で、県や国と比較しても医療費が多くなっており、医療費の動向を注視していく必要があります。

疾患別で見ると、循環器疾患、がん、糖尿病が、入院・外来で多くなっています。いずれの疾患も、早期発見・早期治療によって、重症化を防ぎ、医療費の増大を抑制することができます。しかし、自覚症状がないことが多く、健診による確認が不可欠です。また、各種保健事業も健診結果に基づくことから、一人でも多くの方に健診を受けていただく必要があります。

5

保健事業の重要な目標

受診率は目標に及ばず



県受診率よりは高いものの、目標値 60%には及ばず、40%付近で推移しています。

6

計画目標と実績

計画全体の目標	計画全体の評価指標	計画策定時	目標値/実績値						
			年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11
i 健康寿命(平均自立期間)の延伸がみられる。	・平均寿命(0歳平均余命) ・健康寿命(平均自立期間要介護2以上)	R2年度 【男性】 ①平均余命 82.4歳 ②平均自立期間 81.0歳 【女性】 ①87.6歳 ②84.6歳	目標値	平均寿命(0歳平均余命)の増加分を上回る 健康寿命(平均自立期間)の増加					
			実績値	【男性】 ①82.4 ②81.2 【女性】 ①88.2 ②85.4					
ii 特定健康診査受診率が向上する。	特定健康診査の受診率	R4年度 42.6%	目標値	50%	52%	54%	56%	58%	60%
			実績値	43.2%					
iii 重症化による新規人工透析移行者が減少する。	透析新規移行者の減少	R4年度 12人	目標値	前年度より減少					
			実績値	11人					
iv がん検診の受診率が向上する。	がん検診の受診率		各種検診にて評価						
v 介護予防・フレイル予防に努める。	ポピュレーションアプローチの実施回数	R4年度 100回	目標値	100回					
			実績値	132回					
vi 1人当たり医療費の国との差が減少する。	1人当たり医療費(入院、入院外、歯科)	R4年度 入院 158円 入院外 1,988円 歯科 344円	目標値	計画策定時と比べて減少する					
			実績値	入院 486円 入院外 1,934円 歯科 299円					

実績について

i 健康寿命の延伸、iii 新規人工透析移行者、v 介護予防・フレイル予防については目標を達成しました。この他の指標については目標未達となっています。特に ii 健診受診率については目標値と大きく乖離しており、とくに大きな課題であると考えています。

評価及び見直しについて

いずれの目標も重要な要素であり、計画は始動段階であるため、今年度は修正を加えず現行の形で進めたいと考えています。